

2009年4月28日

各位

丸大食品株式会社

代表者名 取締役社長 百濟徳男

(コード番号 2288 東・大)

問い合わせ先 取締役総務人事部担当 田邊知之

Tel 072-661-2514

「青島丸魯大食品有限公司」工場再開に関するお知らせ

弊社は、現在稼働を停止しております青島丸魯大食品有限公司（中国工場）に関し、再発防止に向けての原料検査と製品検査の検査体制を整備することにより、安全および品質管理体制を強化・再構築をいたしました。約2カ月間にわたる工場監査による安全確認作業が完了しましたので、5月7日から工場を再開することにいたしました。

今般の件につきまして、関係各位に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後、安全・安心を一層優先させた商品づくりに取り組んで参ります。

<記>

● 工場再開決定までの経緯

2008年9月	中国工場の稼働を停止
2009年1月	液体クロマトグラフ質量分析計導入へ向けての教育実施
2009年2月	同工場の第1次工場監査
2009年2月末	同工場において化学物質を含めた自社検査が可能な体制を構築（液体クロマトグラフ質量分析計導入）
2009年3月	監視カメラの増設による監視体制強化
2009年3月上旬	同工場の第2次工場監査実施
2009年3月下旬	同工場の第3次工場監査実施
2009年4月14日	危機管理委員会からの安全確認報告
2009年5月7日	工場再開予定

● 安全管理体制について

(1) 中国工場における原料検査体制の構築

液体クロマトグラフ質量分析計の導入を行い、メラミンをはじめ、農薬および合成抗菌剤、抗生物質、添加物等の検査を拡大し実施いたします。また製品検査については混入可能性の高い残留農薬を中心とした検査を実施する体制を構築。それに加え、今後は農薬、動物用医薬品、化学物質などにも順次拡大を図ります。

(2) フードディフェンスの強化

中国工場施設内に監視カメラを増設するとともに、薬剤管理、私物管理の強化を行い、不測の事故防止のための体制を構築いたしました。

(3) 日本国内での出荷前検査体制の強化

日本国内の弊社分析センターで、商品特性に応じて検査項目を決定し、出荷前検査を実施致します。

(4) 定期的な情報収集と発信

青島丸魯大食品有限公司は、日系企業間で設立している青島日本人会食品部会を“食品安全部会”として位置付け、中国国家品質監督検査検疫総局（CIQ）と連携して中国国内での食品に関する定期的な情報交換の場を設けてまいります。

※液体クロマトグラフ質量分析計（LC/MS）。難揮発性物質、高極性物質、高分子物質、熱分解性物質等の分析に適しており、従来GC/MSで分析が困難とされていた物質群を高感度に測定できるため、今後の化学物質モニタリングを推進していく上で主要な分析手段である。

<青島丸魯大食品有限公司の概要>

- 会社名 青島丸魯大食品有限公司
- 所在地 中国山東省青島膠南市海浜工業園
- 資本金 500万\$
- 投資形態 丸大食品(株)(95%)、住友商事(株)(5%)
- 敷地面積 18,000坪
- 建屋面積 4,500坪
- 従業員数 約230名（2009年3月末現在）
- 年間生産能力 5,750t
- 許認可 HACCP 認証済み、日本輸出許可済み
ISO9001、ISO14001 承認済み
- 設立 2003年

